

# J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 3 月号

## 1. 支店行動計画実績発表会

J A 鳥取いなばは 2 月 18 日に、令和 2 年度支店行動計画実績発表会を鳥取市の本店で開いた。

同 J A は、自己改革の一環で平成 23 年から支店行動計画を始め、組合員・地域の利用者にとって「J A がここよりどころ」となれるよう役職員が意識を高め、毎年様々な活動を展開している。

発表会には、J A 役職員のほか、支店行動計画に協力した女性会や青壮年部などから約 50 人が参加した。表彰式では、優秀賞に岩美支店、国府支店、用瀬支店、せんだい支店、智頭支店が選ばれた。



## 2. 福部産らっきょうWEB事前販売打ち合わせ会

福部支店は 2 月 24 日、東京青果との令和 3 年産福部産らっきょうWEB事前販売打ち合わせ会を、同支店らっきょう加工センターで開いた。同打ち合わせ会でWEB会議を用いるのは今回が初となった。

打ち合わせ会では、現在の生育状況、他産地の状況、量販店・スーパー・生協・加工業者の動向、ふくべ砂丘らっきょうの販売方針・産地への要望など情報交換が行われた。



## 3. シイタケ植菌体験

八頭地区椎茸生産振興会と J A 鳥取いなば営農指導センターは 2 月 25 日、鳥取市河原町の市立散岐小学校で原木シイタケの植菌体験を開いた。1 年生 16 人がクヌギの原木に、県産シイタケのブランドである「菌興 115 号」を植菌した。

植菌作業では、児童が原木 2 本ずつを担当し、肉厚で大型になる「菌興 115 号」の駒菌をかなづちで打ち込んだ。児童は、同会の前田会長の補助を受けて電動ドリルを操作し、1mほどの原木に穴を開ける体験も行った。



#### 4. アスパラ播種作業がスタート

J A鳥取いなばは2月18日、鳥取市の育苗センターでアスパラガスの播種作業を始めた。生産者から苗注文を受け、J A職員らが育苗箱に専用の紙ポットをセットして播種し、良質な苗作りに取り組んだ。

育苗した苗は、3月中旬まで管理し、定植時期に併せて生産者に随時引き渡す。



以上